

# ふくし 基金だより

67

2013  
06



## CONTENTS

- ◆努力したい人を支える社会の建設を／01
- ◆2012年度事業報告書／02
- ◆2012年度活動日誌／02
- ◆2013年度「地域福祉助成」募集／03
- ◆2012年度地域福祉助成先の報告書から／03
- ◆育英奨学生からのおたより／04, 05
- ◆トピックス／06
- ◆ご寄付のお礼／06
- ◆役員退任のご挨拶／07
- ◆トドックふくし基金サポーター通信／08

## 努力したい人を支える社会の建設を 〈新理事長としてのご挨拶〉

公益財団法人コープさっぽろ社会福祉基金  
理事長 杉岡 直人



このたび福地保馬前理事長の後任として第4代目の理事長を務めさせて頂くことになりました。現在は北星学園大学社会福祉学部で家族と地域福祉の課題をメインに教育研究に関わっています。

ひとり親世帯に関する実態調査（平成23年度）によれば、10歳上の子どもをもつ親の悩みは教育・進学が6割を超えており、家計の不安よりも大きいことが分かります。「努力することが報われる社会を実現すること」は大事ですが、基本は「努力する機会が与えられる社会を実現すること」です。発展途上国の子どもの学習の喜びを報道でみるたび、学ぶ環境が改善されることの大切さを気づかされます。

経済的な理由で高校への進学を断念することがないようにしなくてはなりません。NPO法人ブリッジスマイルが2012年に全国584の児童養護施

設を対象にした調査結果によれば、10年間に大学・短大・専門学校への進学者433人のうち経済的理由などで中退した人は3割を数えています。仕事をしながら学業を続ける生活では自習時間を確保できない、生活費や家賃代を稼ぐためにバイトして進級できないなどの現実が紹介されており、住居の提供などの自立支援を図ることが必要という提案も紹介されています。国会でも子どもの貧困解消を掲げた法案の協議が始まっており、「子どもの将来が生まれ育った環境で左右されることがない社会の実現」が基本とされます。

昔は働きながら学ぶ中学卒の若者が多く、昭和30年代の定時制高校の数は3000以上ありましたが、現在は700と減少しており、統廃合も進められています。定時制高校の生徒にとって、生活費を工面することは難し

い状況にあります。定時制の生徒が働く時間のある昼間は主婦の人々がパートで働けなからバイトをみつけることは難しく、飲食店などで大学生などがバイトをすることの多い夜は、自分の勉強時間と重なるので働けません。現代の若者にとっては〈働きながら学ぶ時代〉から〈学ぶために働く時代〉に変化しています。生活苦に悩む学ぶ若者に必要なのが奨学金ですが、給付奨学金の制度はきわめて限られています。当基金は1989年の設立当時からこれまで育英奨学生（2013年度は給付奨学生111名）を中心に事業を取り組んできましたが、社会の現実依然として厳しい状況にあります。

社会福祉基金の役割としては、第一に勉強したい若者を応援することを更に強化すると同時に第二に府県に比較して高齢化率が高い北海道に必要な支えあいの活動（助成団体は50）を推進することが求められています。幸いトドックサポーター制度がスタートしてから多くの応援（約1万人）を頂くようになり、公益財団法人としての基金活動が期待されていることを受け止めて、積極的な広報活動に取り組みたいと思います。なにとぞよろしくお願い申し上げます。

# (財)コープさっぽろ社会福祉基金 2012年度事業報告書

## ■賛助会員状況

3月31日現在 単位：人・千円

	法人会員		個人会員		合計	
	会員	会費	会員	会費	会員	会費
11年	183	3,960	208	362	391	4,322
12年	190	3,970	170	342	360	4,312
年%	103.8	100.3	81.7	94.5	92.1	99.8

## ■育英奨学生給付状況

(人)

学年	支援学校	一人親家庭	合計
1年生	18	21	39
2年生	16	20	37
3年生	16	20	36
合計	50	61	111

## ■収支計算書

4月1日~3月31日 単位：千円

科目	予算	実績	予算%
<b>I. 収入の部</b>			
基本財産運用収入	4,810	4,809	100.0
会費収入	4,300	4,312	100.3
寄付金収入	11,400	12,529	109.9
震災支援金振替	4,500	5,341	118.7
雑収入	0	0	---
当期収入合計	25,010	26,993	107.9
<b>II. 支出の部</b>			
育英奨学金給付	13,620	13,260	97.4
福祉助成金	3,000	2,907	96.9
広報啓発	1,380	1,344	97.4
震災支援事業	4,500	5,400	120.0
管理費・その他	2,010	2,210	110.0
当期支出合計	24,510	25,121	102.5
当期収支差額	500	1,872	374.4

## ■貸借対照表

2013年3月31日現在 単位：千円

I. 資産の部		II. 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	1		0
普通預金	4,718	2. 固定負債	
郵便貯金	580		0
振替貯金	1,187		
流動資産合計	6,486	負債合計	0
2. 固定資産		<b>III. 正味財産の部</b>	
(1) 基本財産		正味財産	156,486
出資金	120,000	(うち基本金)	150,000
定期預金	30,000	(うち当期増加額)	0
商工債	0		
(2) その他	0		
固定資産合計	150,000	負債及び	
資産合計	156,486	正味財産合計	156,486

## ■事業の概要

### 〈財政の状況〉

- (1) 収入は、予算を198万円上回りましたが、東日本大震災支援金振替を除く実質は114万円の超過の6,215万円です。最大の要因は法人寄付金が大口寄付等で120万円オーバーしたことです。
- (2) 支出額は、予算に対して61万円のオーバーですが、震災支援費を除く実質は▲29万円の2,422万円です。内容的には事業費で▲49万円ですが、管理費は+20万円となっています。
- (3) 結果として収支差額は+187万円で、財政は安定して推移しています。
- (4) 資産は基本財産が1億5,000万円に達し、資産総額で1億5,648万円となっています。

### 〈事業の状況〉

- (1) 育英奨学金は前年107名より4名増の111名に対し1,326万円を支給しました。
- (2) 地域福祉助成制度による支援は43件、291万円です。前年より33万円拡充できました。
- (3) 「基金だより65・66号」の発行など広報・啓発活動を進めました。
- (4) 財団の活動の広報強化に努め、トドックサポーター（宅配OCR注文書での月額100円募金への参加者）は9,000名を越えました。
- (5) 組合員の支援金982万円を基に取り組んだ東日本大震災支援事業は終了しました。

2012年度

活動日誌

### ■第1期(4月~6月)

- 4月13日 2012年度育英奨学生受付締め切り
- 4月17日 2011年度の財務諸表及び運営に関する監査実施
- 4月21日 育英奨学生選考委員会開催
- 4月21日 2011年度第4回理事会
- 4月23日 2012年度育英奨学生に採用通知発送
- 5月19日 2012年度定時評議員会開催
- 5月21日 「基金だより65号」発行
- 5月22日 法人賛助会員会費納入願い書を送付
- 5月25日 第1回育英奨学金送金

### ■第2期(7月~9月)

- 6月1日 2012年度「地域福祉助成」募集スタート(6月30日締切)
- 6月7日 コープさっぽろ通常総代会、基金の2011年度事業報告
- 6月14日 コープさっぽろ生協会総会、基金の2011年度事業報告
- 7月21日 地域福祉助成審査会開催 助成先 43団体決定
- 7月21日 東日本大震災支援団体助成審査会開催 助成先 7団体決定

### ■第3期(10月~12月)

- 10月20日 第2回理事会・臨時評議員会
- 10月26日 福祉講演会「これからの社会保障と福祉を考える」
- 11月15日 「くし基金だより66号」発行
- 11月30日 第3回育英奨学金送金
- 12月11日 第3回育英奨学金送金

### ■第4期(2013年1月~4月)

- 2月16日 第3回理事会
- 2月28日 第4回育英奨学金送金
- 3月1日 2013年度育英奨学生募集スタート

# 2013 年度「地域福祉助成」募集

(財) コープさっぽろ社会福祉基金は、地域で活動する社会福祉団体などへの助成を行っています。

## ■助成の対象団体

助成対象は、北海道内で概ね1年以上活動している、(1) 地域で障がい者支援や障がい者福祉施設等を運営する団体、(2) 地域で福祉ボランティア活動を行う団体、(3) 一定の広域的地域を対象に活動する社会福祉団体、(4) 地域で相互扶助・助け合い活動を行う団体、(5) 疾病・障がい等の当事者・家族等の自助活動団体、(6) その他地域福祉に関する活動を行う団体です。

## ■助成内容

助成の内容は下記の通りです。

区分	助成内容	助成額	募集件数	助成総額
① 団体助成	団体の運営を助成	1件につき上限10万円	40団体	290万円
② 活動助成	先駆的活動を助成	1件につき上限30万円	2~3団体	60万円

\* 助成額については申請額より減額される場合があります。



社会福祉助成贈呈&交流会 (8月4日京王プラザホテル)

## ■応募方法

### 〈応募受付期間〉

2013年6月1日(土)~30日(日)

### 〈応募書類の請求及び申請書類の提出〉

下記事務局にハガキ・FAX・E-メールにて資料を請求していただき、応募受付期間内に所定の申請書に必要な書類を添付のうえ提出してください。

## ■応募・問合せ先

〒063-0831 札幌市西区発寒11条5丁目10-1 コープさっぽろ社会福祉基金  
 FAX: 011-671-5741 E-メール: csap.fukushikikin@todock.jp  
 TEL: 011-671-5719 (月・火・木・金曜日の午前10時30分~午後3時)

## ■選考方法及び通知

### 〈選考方法〉

応募多数の場合は、当基金の規則が定める基準に基づき審査委員会が応募先及び助成額を選考します。

### 〈通知及び助成交付〉

助成決定団体へは、7月下旬に通知を行い、7月末までに指定金融機関口座へ振込みます。尚、地域毎に8月上旬に助成贈呈式及び交流会等を別途ご案内致しますので、代表又は代理の方のご出席をお願いします。

## 2012 年度地域福祉助成先の報告書から

—さまざまな活動の様子が寄せられました—

### 日本二分脊椎症協会北海道支部 (札幌市)

・9月29日~30日の2日間、滝川市の滝川ふれ愛の里で総勢29名の参加により療育キャンプを開催しました。車椅子リフト付の福祉バスを利用し快適な旅となりました。



### ホームレス支援北海道ネットワーク (札幌市)

・支援者のデータ整理や、求職活動などにも活用できるようノートパソコンを1台購入しました。



### 重複聴覚障害者と高齢ろうあ者の

#### 在宅福祉を考える会「とも」(苫小牧市)

・手話通訳者、手話サークル員やボランティア活動に関心がある聴覚障害者の方々を対象に、第1回聴覚障害者に関わる「ボランティア研修会」を札幌市身体障害者福祉センターで行いました。



### 東藻琴福祉会東藻琴事業所ちあふる (大空町)

・新たな事業として、紙漉き作業を就労メニューに加えるため道具を揃えました。利用されている方々は熱心に取り組み、良い作品ができるよう励んでいます。



## 2012年度育英奨学生 卒業生からのおたより

この度3月8日、高等養護学校を無事卒業することができました。入学した頃は学校になかなか慣れず、とまどうこともありました。3年生になり進路も決定し、それに向かい頑張ることができました。社会福祉基金の皆さんには、1年生のときからお世話になり本当にありがとうございます。ほくは卒業後は、パンやクッキー作りの仕事をするようになりました。親元を離れ、ケアホームで生活することになりました。とても楽しみです。

入学当初は慣れるまでかなりの時間がかかりましたが、時間が経つにつれたくさんの友人と仲良く会話したり、学習面でも多く学ぶことができました。表現写真部に入って写真の応募と読売写真大会2席と朝日新聞の写真展で金賞をいただくという機会に恵まれた他、部長を務めさせていただき、数々の遠征を通して多校の方々と交流・友好関係を築かせてもらったことが、何よりの財産です。奨学金をいただいたことで、三年間楽しく学ぶことができました。ありがとうございました。

僕は入学時、人との関わりが苦手で自分から話しかけることができず、学校でも寄宿舎も嫌で3日も経たないうちに止めたいと考えていました。そんな中、たくさんの方が僕に話しかけてくれました。はじめはあんまり話すことができませんでしたが、少しずつ話していくうちにおもしろい人がたくさんいるんだなあと思い、自分からもあまり話したことの無い人に話しかけることができるようになっていきました。そうすると学校も寄宿舎生活が楽しくなり、勉強も意欲的に頑張るようになっていきました。僕は学校や寄宿舎が嫌いでしたが、今となっては将来の夢や目標、それにたくさんの友達ができたこの学校に入学できて本当に良かったと思います。

今年の3月に私は無事高校を卒業することができました。そして第一志望の大学に合格した知らせを受け、今はほっとしています。高校に通っていた3年間で振り返ってみると様々なことが思い出として浮かんできます。日々の学校生活や学校祭、修学旅行を終えてからは受験に向けて必死に努力したことなど、どれも私にとってかけがえのない日々として思い出になっています。特に修学旅行については奨学金があったおかげで行くことができました。本当に感謝しています。受験期においても奨学金による経済面の支えは大きく、勉強してこられたのだと思います。合格できた大学では自分の目標である教員を目指して努力し続けていきたいです。

ほくは自分の手の器用さには自信があります。長時間集中することも出来ます。ただ気配りとか人と話したりすることが、卒業する今でも不安です。でもここでの3年間でいろんな人とけんかをしたり、言い合いもしたりして自分の気持ちをストレートに伝えたり、自分から話しかけたりしました。今でも緊張しますけれども、それでも前向きに自分から話しかけて少しずつ経験を積んで行けたらなあと思います。ほくが社会人になってからの目標は、とりあえず社会にしても施設にしてもなるべく早く新しい環境になじんで、そこの人たちと打ちとけて、それでやっスタートラインに立った感じがします。目標を一つクリアして次々と新しい目標を立ててがんばっていきます。

3年間奨学金をありがとうございます。おかげで勉強を一生懸命できました。体力づくりで持久走をたくさん走り、体をきたえることができました。作業学習でたくさん作業をして、集中力がつきました。趣味で自分で作曲した曲をユーチューブに投稿したりしました。3年間充実して過ごすことができました。卒業後はタオルたたみの仕事をします。趣味で音楽をしながら仕事をしていきたいです。(点字と点訳でいただきました)

## 一般高校生20名、高等支援学校生16名の36人の皆さんが 卒業され、新しい生活をスタートさせました。

僕が高校3年間、部活を続けることができたり、楽しい学校生活を送ることができたのは奨学金を受けさせて頂いたからです。部活動では3年間ケカをすることなく続けることができ、学校生活では多くの友達と毎日色々な思い出をつくることができました。また、自分の志望する進路に進むこともできました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。この気持ちを忘れず、この楽しかった3年を忘れずにこれからも頑張っていけます。

私の高校生活の3年間は半分以上が勉強でした。勉強をしない日はほとんどなかったと思います。そのおかげで理解することの楽しさを学ぶことができました。また、体調管理もしっかりしていたので一日も休むことはありませんでした。勉強の合間をぬって友達や家族と出かけることも楽しみました。全体的に振り返るととても充実した高校生活だったと思います。卒業式で3カ年皆勤賞と成績優秀賞を受け取ることができてとても嬉しく努力が報われたように感じました。これからも自分の目標に向かって日々努力を続けていきたいと思っています。

この3年間は想像していたよりもあっという間に過ぎ充実した高校生活となりました。私の3年間はひたすら部活動の日々でした。辛いこと、苦しいこと、もちろん楽しいことたくさんの事を共にした仲間と乗り越え目標に向かってと、とにかく必死になって取り組むことができて良かったです。その経験全てが今の私の財産です。支えて頂いた先生方、母、友人たくさんの方々に言葉では伝えきれないほどの感謝の気持ちで一杯です。これから介護福祉士という新しい道に進みます。今までの部活動での経験を生かして、高齢者の方々にたくさんの笑顔と幸せを与えられるような介護福祉士を目指して頑張っていこうと思います。

私にとっての高校生活の3年間はとても充実していました。新しい友人もたくさんできて学校生活はとても楽しかったです。私が高校で一番がんばったのは部活です。部活動は人数も多く珍しい部活だったので大変なことのほうが多かったです。ですが、大変だった半面学んだことも多かったです。部活動で学べたことはこれからの仕事などに活かしていこうと思っています。私が高校生活でもう一つがんばったのは一日も学校を休まなかったことです。そのおかげで皆勤賞をいただくことができました。これからは学生とちがう社会人となります。不安が多いですが高校生活で身についたことや部活で学んだことを糧にがんばっていこうと思います。

私にとって高校生活はこれまで私が経験してきたことの中で最も尊いものとなりました。高校に入学する時、ずっと行きたかった学校に通えることの嬉しさと、新しい環境への不安とがありました。元々、内向的な性格だったので人付き合いが苦手でしたが、高校生になり少しずつでしたが色々な人と関わる度に私の世界は広がり面白味を増していきました。個性豊かな人達と知り合い、気の合う友人ができたことが嬉しかったです。そしてあっという間に1年2年と過ぎました。3年生として過ごした1年は特に貴重な時間でした。最後の高校生活を存分に楽しめた半面、受験の辛さもありました。しかし、挫けそうになった時にいつも手をさしのべてくれる家族や先生方、一緒に励ましあい頑張った友人たち、そしていつでも側にはいなくとも支えてくださった社会福祉基金の皆さんのお陰で、最後まで諦めずに努力することができました。残念ながら第一志望の大学には合格できませんでしたが、良い経験をしました。この悔しさを糧にこれから頑張っていけます。いつも自分を支え、導いてくれる人達への感謝を忘れずに、自分の道を歩いていこうと思います。

# トピックス

## 2013年度育英奨学生 39名決定！！

当財団の奨学生の対象は、ふたつに分れており、ひとつは高等養護学校など高等支援学校の部であり、もうひとつは一人親家庭（母子・父子・両親なし）です。前者は道内高等支援学校から、各1名の学校推薦をいただいています。後者の一人親家庭については、一般公募をしています。

### 過去最高の応募

2013年度の育英奨学生の募集は、3月（1～29日）に当財団のホームページや、コープさっぽろ店頭ポスター、広報誌『ちょこっと』などで行いました。

応募書類の請求は162件になり、4月12日の受付締切までに123件の応募がありました。これらの数字は過去最高となりました。

### 選考委員会の経過

4月20日に奨学生選考委員会が開催されました。

まず高等支援学校18校からの推薦18名については、全員の採用を確認しました。

一般高校の一人親家庭の生徒については、採用数20名について、応募者全員の評価表をもとに慎重な議論が重ねられました。

申請書類をもとに、経済状況と学業評価を点数化した総合評価表に従って、上位者から選考、経済状況はいずれも厳しさがうかがえ、出席状況や課外活動なども加えて、最後は全員の合意で1名を追加して同日の理事会に諮り、21名の採用となりました。

### 応募者の概要

123名中札幌市が66名、札幌市以外が66名でした。

札幌以外は、21市52名、12町14名の応募でした。

採用21名では札幌7名、江別、函館が各3名、北広島、北斗、網走、北見、七飯、幕別、大樹が各1名でした。

又、全応募者の平均年収は227万円、平均学科点は3.38でした。

### 2013年度奨学生

在校生については、進級確認を行い、結果として13年度の奨学生は表の通り、111名となりました。



\*選考委員会の様子

### 2013年度在籍育英奨学生数

(2013/5/18現在)

	一般高校	支援学校	小計
1年生	21名	18名	39名
2年生	20名	17名	37名
3年生	20名	15名	35名
小計	61名	50名	111名

## ■ご寄付ありがとうございました 2012年4月1日～2013年3月31日受領分

コープさっぽろ函館地区委員会様(2回)/コープさっぽろ西岡店ボランティアグループ様(2回)/ボランティアグループたんぽぽ会様/コープさっぽろソシア店コープ会様(2回)/コープさっぽろ北広島店北広島福祉の会様(3回)/コープさっぽろルーシー店福祉グループ他一同様(2回)/コープさっぽろ余市店りんごコープ会様/河原 克美様(2回)/川瀬様/日本アクセス北海道様/榊鈴木農園様/コープさっぽろ(年末助け合い募金)様/コープさっぽろ(愛と協同募金)様/コープさっぽろトドックふくし基金サポーター(9321名)様

### ■当財団は～税額控除団体です。

租税特別措置法の改正で、税額控除制度が採用され、当財団は平成23年9月20日付けで税額控除団体となり税額から寄付金額を差し引くことができる事になりました。限度はありますが、有利な方を選べます。なお、寄付金額には賛助会費も含まれます。確定申告の際に、どちらかを選択の上、領収書・証明書をご利用ください。

#### 所得控除額 寄付金額(所得40%限度)－2000円

\*1万円を寄付の場合8000円を所得から引けます。

#### 税額控除額 「寄付金額(所得40%)－2000」×40%

\*1万円を寄付の場合3200円を税額から引けます。

### 賛助会員の加入ご協力を

- 個人会員 1口 年額 1,000円
- 法人会員 1口 年額 10,000円

※1口以上何口でもお受けします

#### 〈銀行振込口座〉

北海道労働金庫本店(普通預金)口座番号 3383604

(財)コープさっぽろ社会福祉基金 理事長 杉岡 直人  
(スギオカ ナオト)

#### 〈郵便振込〉

口座番号 02780-5-6035

(財)コープさっぽろ社会福祉基金

# 理事長退任のご挨拶 「基金」の発展とさらなるご支援をねがって

福地 保馬

このたび、コープさっぽろ社会福祉基金の理事長を辞し、新しく杉岡直人北星学園大学教授に理事長に就任していただくことになりました。

私が理事長をお引き受けした8年前（2005年）は、本基金の母体であるコープさっぽろの経営危機の影響で事業活動を縮小しなければならない困難から、やっと立ち直りに向けて「財政・事業中期5カ年計画」を策定し、その実現をめざしていた時期でした。

幸いにも、事業規模も急速に回復し、2005年からは、地域福祉活動への助成制度を発足させ、2009年には、公益財団法人の認可を受け、育英奨学生の数も86人と過去最高となりました。育英奨学生は、以後毎年のように、募集定員を増やし、本年度は111人の採用を決定することができ、事業規模は2000万円を超えるまでになりました。

このように回復からさらに発展することができた要因はいろいろあると考えますが、何よりも大きいのは、個人・法人の賛助会員と、トドックサポーター（2008年スタート）として、あるいは、コープさっぽろの店頭での募金に積極的に応えてくださったコープさっぽろの組合員の方々の支援の力であったことは間違いありません。

しかし、昨今の日本社会における教育格差の拡大、生活困難の増大、社会福祉制度の後退などの状況を見ていると、この程度の福祉基金の支援の規模は、とてとても、微々たるものでしかないといえるでしょう。これからも、コープさっぽろ社会福祉基金は、コープらしい「協同の輪」をもっともっと広げ、大きく発展して行かねばならないでしょう。心ある多くの人たちがそれを期待しています。

理事長就任前の理事時代を含めて14年の長きにわたって、基金の役員をなんとか務めることができたことを皆様に感謝いたします。

## 専務理事退任に当たって

木村 邦弘

この度、前任の高倉理事長から福地理事長まで7期14年に渡って努めさせて頂いた専務理事の任を退任するに当たって、ご支援・ご協力を頂きました皆様に誌面にて恐縮ですがお礼のご挨拶を述べたいと思います。

思えば、今年で創立24周年を迎える当財団の歴史に14年間を専務理事として関わることができ、様々な困難に直面しながらも、諸先輩が築いた貴重な事業を維持・継続し、2009年には公益財団法人の認証を受け、新たな発展への橋渡しができたことに安堵するとともに、改めて母体であるコープさっぽろの役職員・組合員、財団の運営にご尽力を頂いた理事、評議員の皆様衷心より感謝申し上げます。

今後は、私のライフワークとなります若年認知症の人と介護家族の支援を推進するNPO法人の活動に専念するとともに、微力ながら評議員としてもう少し財団の運営をお手伝いさせて頂く所存ですので、引き続きご支援の程を宜しくお願い致します。



右から、理事会でご挨拶する福地保馬前理事長と木村前専務

2013  
年度

## 役員名簿

### ■理事（11名）・監事（2名）

理事長 杉岡 直人 北星学園大学教授  
専務理事 稲垣 一雄 生活協同組合コープさっぽろ  
基金事務局長

常務理事 平 照治 生活協同組合コープさっぽろ  
組織本部本部長

理事 前川 和廣 北海道生活協同組合連合会  
専務理事

理事 木村 純 北海道大学教授

理事 吉野 正敏 NPO法人北海道自由が丘学園理事長

理事 吉田 勝彦 日糧製パン(株)代表取締役社長

理事 宮崎久美子 生活協同組合コープさっぽろ理事

理事 奥平 和子 小樽市高齢者懇談会社長の幹事

理事 飯澤理一郎 北海道大学名誉教授

理事 中川 富子 コープくらしの助け合いの会代表

監事 宮嶋 美典 生活協同組合コープさっぽろ  
管理本部長補佐

監事 井上 久子 生活協同組合コープさっぽろ監事

■評議員（11名）

評議員 前濱喜代美 北海道生活協同組合連合会  
事務局次長

評議員 林 朋子 生活協同組合コープさっぽろ理事

評議員 福地 道雄 特定非営利活動法人  
さつされん事務局長

評議員 上田 厚子 公益社団法人札幌市母子  
寡婦福祉連合会会長

評議員 伊藤 政勝 北海道高等盲学校校長

評議員 滝澤 弘 北海道労働者福祉協議会事務局長

評議員 齊藤 正弘 北海道労働金庫本店営業部本部長

評議員 木村 邦弘 NPO若年認知症北海道  
サポートセンター理事長

評議員 林 恭裕 北翔大学教授

評議員 林 光彦 前北海道立衛生学院院長

評議員 森 剛 北海道退職校長会会長

# 「トドックふくし基金サポーター通信」

サポーターのみなさんお元気ですか。

道内はゴールデンウィークは雨や雪で行楽地は大幅に客が減り、桜の開花も遅れ、低温と日照不足で農作業にも大きな影響が出ています。早く温かい初夏を迎えたい今日この頃です。年に2回、「基金だより」の1ページを「トドックふくし基金サポーター通信」としてお届けします。

## サポーター制度5年目に！

「トドックふくし基金サポーター」制度は今年で5年目を迎えます。2008年に宅配トドックを利用されている皆様に、毎月1回100円の募金をしていただくサポーター登録を呼びかけて約2,000人でスタートしました。2012年度はサポーターから約1,000万円の募金をお寄せいただきました。今年も3月に「サポーター」を宅配で募集し、新たに1,507名の方から申込がありました。ご登録ありがとうございました。皆様からの募金は、育英奨学金（今年度111人）、地域福祉活動への助成、啓蒙・啓発活動などに大切にに使わせていただいています。



「トドックふくし基金サポーター」は9,321名（3/20現在）になりました

## 「サポーター」さん募集中！！

登録申込みは、宅配トドック注文用紙の「注文番号4桁以上の注文欄」に注文番号「53571」と数量「1」（中止は数量欄に「99」）を記入するといつでもできます。登録すると口座から毎月100円が募金されます。申込み確認は第4週企画の納品書に「ふくし基金サポーター募金」と記載されます。サポーターには年2回広報誌「基金だより」をお届けします。

お知りあいの方にご紹介いただき、新しいお仲間が増え社会福祉基金の活動が広がるようにご協力をお願いします。

## お便りコーナー

こんにちは。トドック通信読ませていただいています。

自分が体をこわし、ドクターストップにより仕事ができなくなり十一年目になりました。今、こうして生活させて頂きながらも、何とか私にできることがあればと思い、募金のチラシを見て、出来る事（時）はわずかでも、世の人の為と思い努力させていただいています。

元気で働いていたならもっとさせて頂けるのに……と思いながらですが、今まで続けてこられたことに感謝です。

以前、賛助会員でした。又申し込みます。 (小樽市 K)

本年度も奨学金の継続手続きをさせて頂きまして、誠にありがとうございます。我が家にとっては本当に救いの神であり、助かっております。

母子家庭となって以来、子ども達には本当にいろいろと我慢ばかりさせてきましたが、子ども達の将来や学ぶ事の大切さを考えると、こればかりは我慢させられないと思い、今現在に至っております。

親としての不甲斐なさを感じながらも精一杯、子ども達を育てていこうと思っております。

わが子も無事三年生へ進級し、3級自動車整備士の資格取得へと頑張る年となりました。本人の夢へと一歩ずつ近づいていける事を願うばかりです。ここまで通へ学べた事は、援助いただけただけのお陰でもあります。感謝の気持ちをお伝えしたくお手紙を書かせて頂きました。（奨学生の母）

## お便りを募集します

お届けの「ふくし基金だより」の感想や、あなたに関わっているボランティアのことなど、お便りをお寄せください。次回、基金だよりに掲載させていただきます。お住まいの地域、年齢、さしつかえなければお名前（ペンネームも可）をご記入下さい。

（財）コープさっぽろ社会福祉基金

FAX: 011-671-5741

メール: csap.fukushikikin@todock.jp

ホームページ: www.csap-f-kikin.org

（4ページ）

2012年度育英奨学生 卒業生からのおたより